

ノリ養殖環境速報 KH-01-06 (播磨灘)

令和元年12月24日 発行

調査年月日：令和元年12月23日

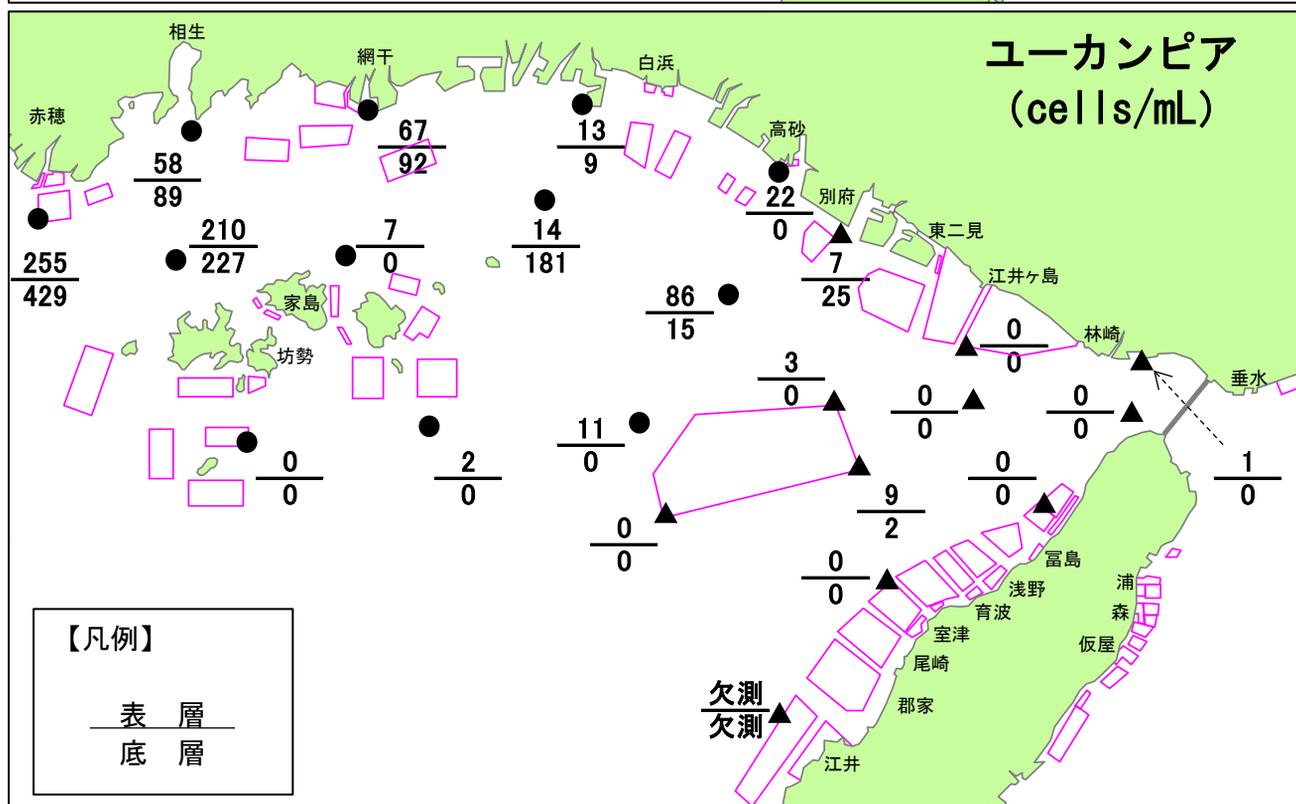
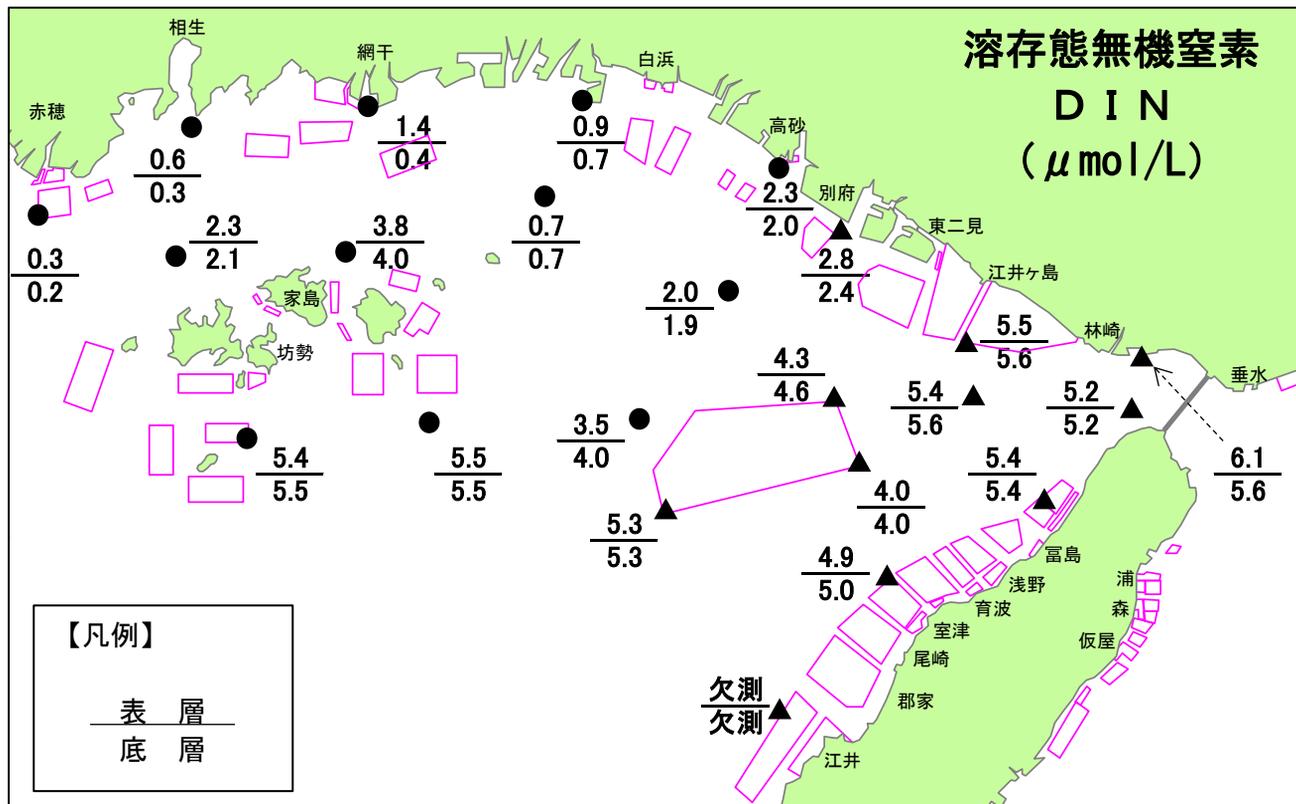
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

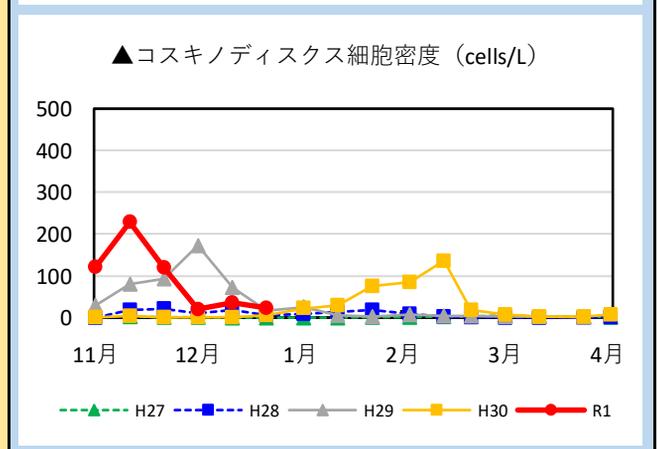
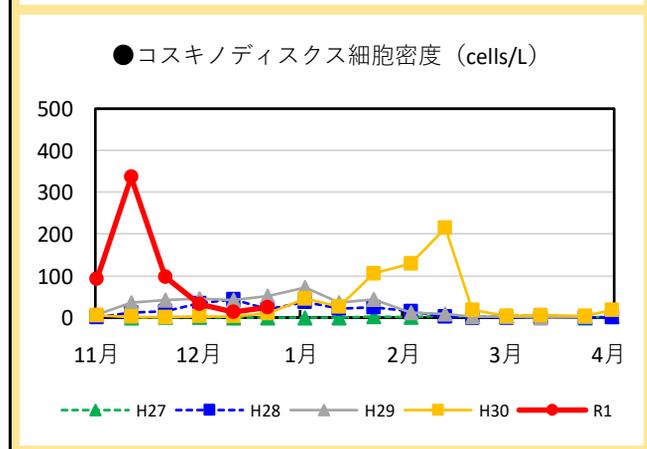
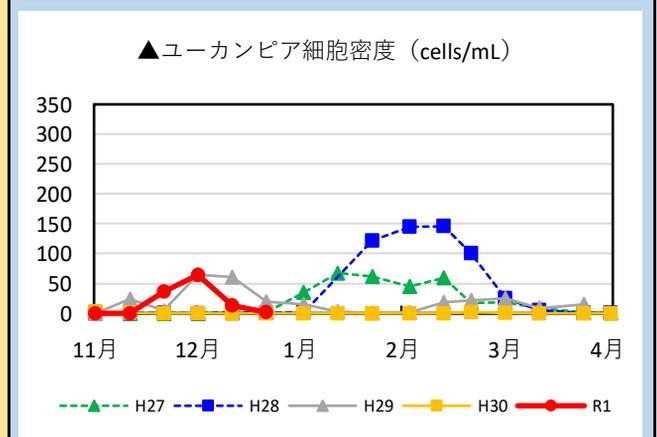
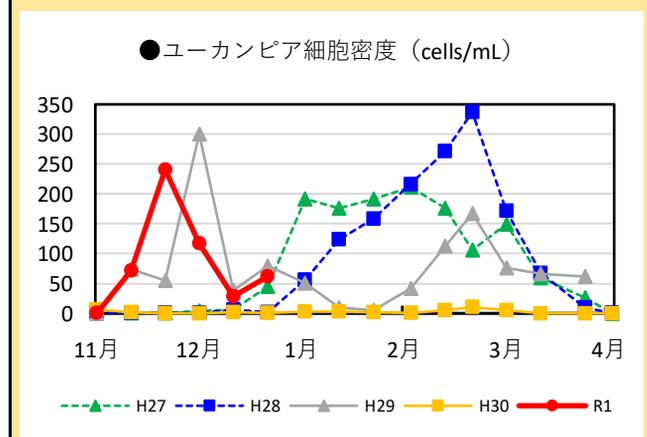
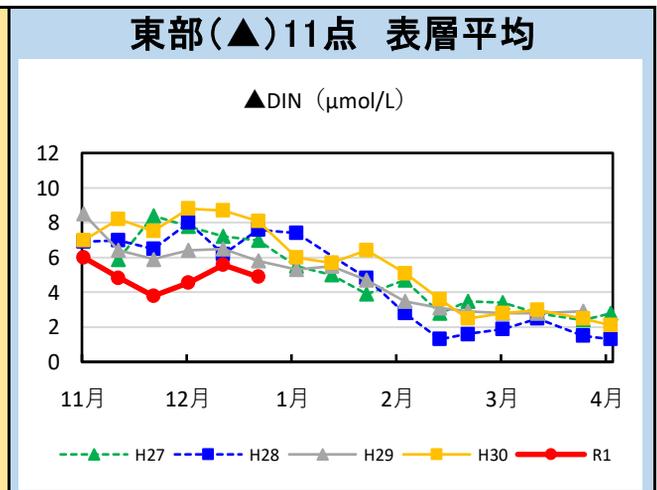
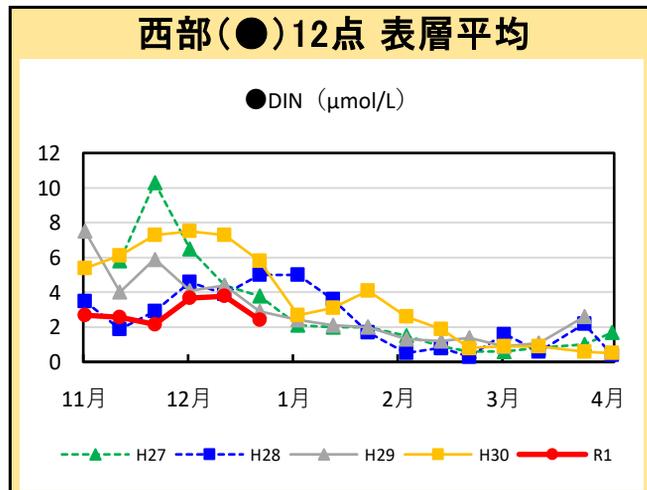
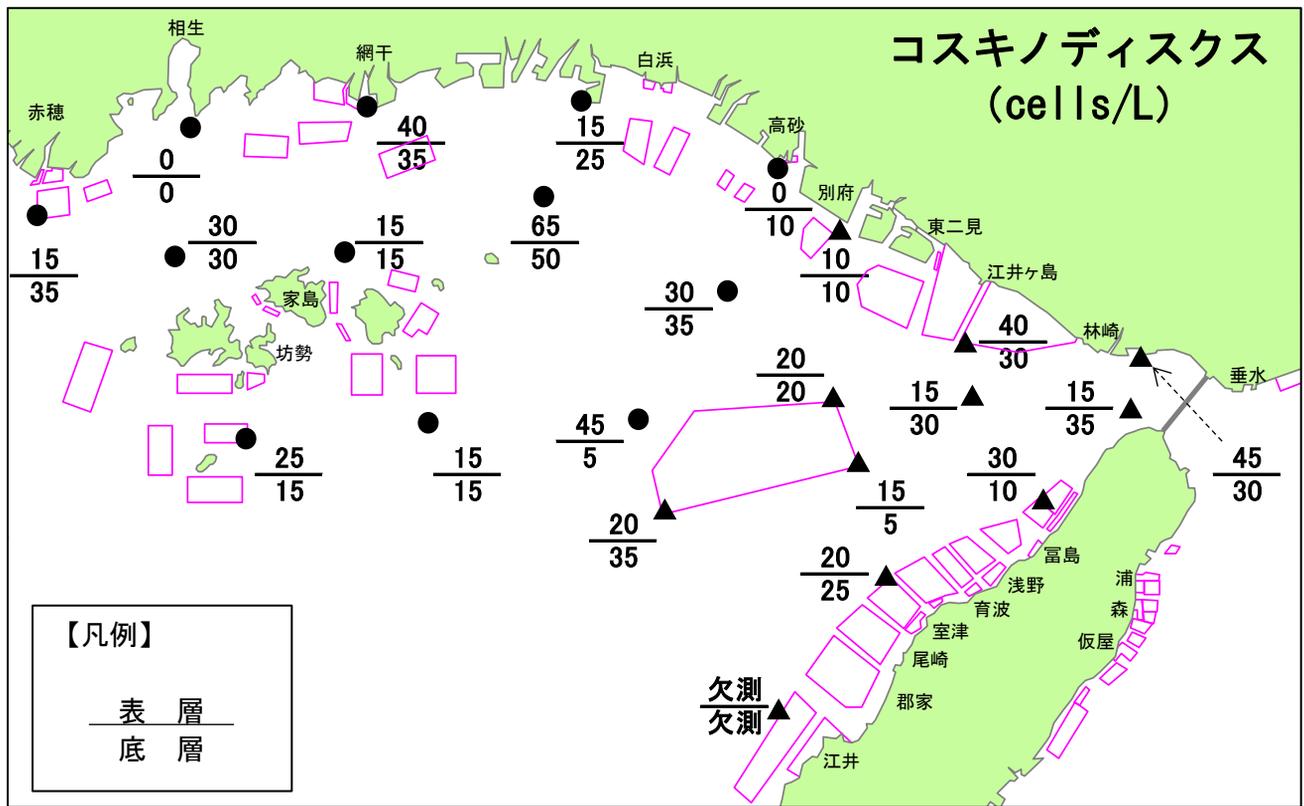
概況

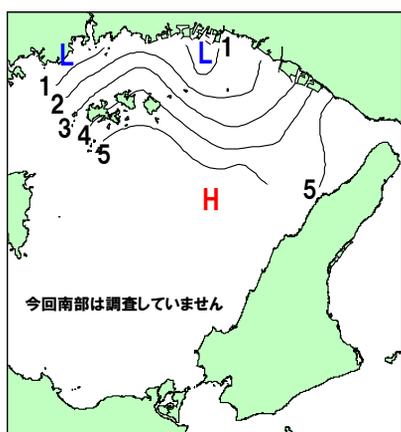
播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.3~5.5 $\mu\text{mol/L}$ の間、東部では2.8~6.1 $\mu\text{mol/L}$ の間で推移しています。白浜から赤穂にかけての沿岸部で2 $\mu\text{mol/L}$ 以下と低くなっています。

西部海域で大型珪藻のユーカンピアが発生しています。ユーカンピアは増加傾向にあるため、今後の動向にご注意下さい。

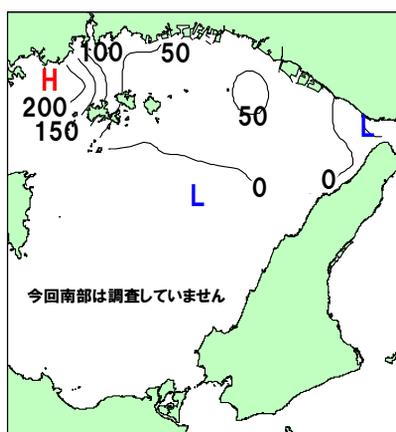
水温は、白浜以西では12.0~14.1 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では14.0~15.5 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で13.6~15.5 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では15.3~15.6 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では14.9~15.6 $^{\circ}\text{C}$ でした。



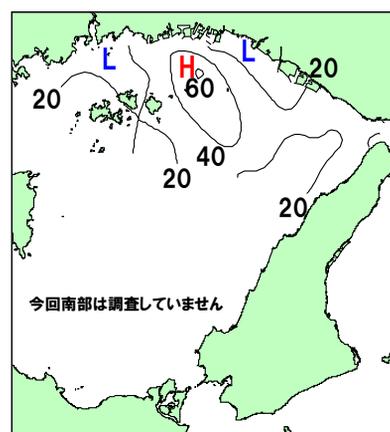




DIN濃度 (μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

令和元年12月23日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、全体的に前回よりも低下しており、播磨灘の東側から沖合にかけて高く、西部沿岸で低い結果でした。

西部海域で大型珪藻のユーカンピアが発生しています。ユーカンピアは増加傾向にあるため、今後の状況次第ではDIN濃度が減少する可能性もありますので、動向にご注意下さい。

コスキノディスクス・ワイレシーは白浜沖合を中心に残存するものの、細胞数は少なく、今後も減少していく見込みです。

週間天気予報 気象庁12月23日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では低気圧や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間の前半は雨や雪の降る日がある見込みです。中部や南部では、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。

最高気温は、平年並か平年より高い見込みです。最低気温は、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い日があるでしょう。降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の情報は12/12に、香川県の情報は12/17に更新されています。
- ・他県の調査については、以下のURLから参照してください。
岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>
香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyuhou.htm>

【参考】栄養塩の単位：μmol/L = μg・at/L = μM

【今後の予定】

- ・令和2年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。
- ・次回は令和2年1月8日頃に発行する予定です。
- ※この情報は、水産技術センターホームページ (<http://www.hyogo-suigi.jp/>) でもご覧いただけます。